

黒石市立小・中学校適正配置及び学校給食に関する説明会概要

1. 開催日程及び参加者数

日 時	場 所	参加者数
平成28年6月 6日(月)	上十川小学校体育館	40人
7日(火)	六郷小学校体育館	20人
8日(水)	黒石小学校プレイルーム	33人
9日(木)	追子野木小学校体育館	37人
13日(月)	中郷小学校集会室	44人
14日(火)	東英小学校多目的室	14人
15日(水)	北陽小学校多目的ホール	31人
16日(木)	牡丹平小学校図書室	16人
	黒石東小学校多目的室	38人
20日(月)	浅瀬石小学校体育館	28人

2. 方針説明概要

(1) 小・中学校適正配置の枠組みと統合実施時期

これまでに公表している、以下の内容のとおり進めます。

学校種別	学校名(統合の枠組み)	統合実施年月	備 考
中学校	黒石、六郷、東英	平成29年4月	学 校 名：黒石中学校 使用校舎：黒石中学校
	中郷	統合なし	
小学校	六郷、上十川	平成30年4月	使用校舎：六郷小学校
	黒石、中郷、北陽	平成32年4月	使用校舎：移転新築
	黒石東、牡丹平、 浅瀬石、追子野木	平成32年4月	使用校舎：黒石東小学校 (一部校舎増築)
	東英	統合なし	

○参考

児童生徒数推移（平成28年7月1日現在）

（単位：人）

	H28	H29	H30	H31	H32
牡丹平小	57(5)	53(5)	58(6)	60(6)	620(21)
浅瀬石小	82(6)	86(6)	82(6)	86(6)	
追子野木小	180(6)	175(6)	181(7)	190(6)	
黒石東小	302(12)	292(12)	290(12)	284(12)	
六郷小	73(6)	62(5)	168(6)	163(6)	159(6)
上十川小	115(6)	109(6)			
黒石小	172(6)	183(7)	173(7)	178(7)	556(19)
中郷小	283(12)	275(12)	268(12)	285(12)	
北陽小	110(6)	91(6)	91(6)	88(6)	
東英小	88(6)	88(6)	88(6)	82(6)	84(6)
黒石中	394(12)	541(16)	507(15)	475(14)	436(13)
六郷中	91(4)				
東英中	62(3)				
中郷中	402(12)	360(12)	335(11)	295(9)	280(9)

※（ ）内はクラス数。

（2）黒石・中郷・北陽小の統合後の移転新築先について

1) 移転新築先 中郷中学校敷地内の東側（砂利駐車場部分）とします。

2) 概要

移転新築先として、旧農林総合研究センター跡地と中郷中学校敷地内の東側（砂利駐車場部分）の2か所を候補地として比較検討し、最終的に後者を選択しました。

平成28年度基本設計、平成29年度実施設計、平成30年度・31年度建設工事を経て、平成32年4月の開校とします。

3) 中郷中学校敷地内の東側（砂利駐車場部分）を選択した主な理由

ア) 国の教育施策が、小中一貫・小中連携教育の推進に向かっており、不登校やいじめの解消、学力の向上への効果が報告されていることから、黒石市教育委員会としても小中連携教育の推進を図りたいと考えています。

イ) 小中連携教育の推進を見据えた場合、小学校と中学校を隣接して建設できる好条件が整っており、絶好の機会であると捉えています。

- ウ) 旧農林総合研究センター跡地への建設と比較した場合、スクールバスの必要台数及び運行経費が大幅に削減できる見込みです。
- エ) 3小学校の統合後、児童が旧農試跡地へ通学するよりも、中郷中学校隣接地へ通学することのほうが地理的配慮からも最善であるとの結論に達しました。

(3) 学校給食について

1) 実施方式 自校給食方式を基本とし、市内全小学校での完全給食を実施します。

2) 概要

学校給食の実施方式に関しては、給食センター方式、自校給食方式、弘前市東部給食センターからの提供方式などの費用やメリット・デメリットを比較、検討した結果、自校給食方式が最も黒石市に適した方式であるとの結論に達しました。

そこで、統合後の使用校舎となる黒石東小学校と、移転新築する黒石・中郷・北陽の統合小学校の2校に自校式給食施設を整備し、小学校の統合と併せて平成32年4月から完全給食を実施します。

また、東英小学校は黒石東小学校の調理施設から給食を配送する「共同実施方式」を採用します。

昨年の厨房爆発事故以来、給食が停止している六郷小学校は、もともと自校式給食を実施していたことから、警察の現場検証終了後、早期に復旧工事に着手し、平成30年4月の上十川小学校との統合を待たずに、1日も早い給食再開を目指します。

3) 自校給食方式を採用した主な理由

- ア) 給食搬入口設置やトラック配送に係るコストが不要となります。
- イ) 十分な調理時間を確保できるため、柔軟な献立作成が可能です。
- ウ) 短縮授業や学校行事など、各学校での柔軟な対応が可能です。
- エ) 調理から喫食までの時間が短く、食中毒等のリスク軽減に繋がります。
- オ) 食中毒や異物混入などが発生した際、被害を最小限に抑えることができます。
- カ) 災害発生時のリスク分散、防災拠点の機能充実を図ることができます。
- キ) 児童と調理員との交流が生まれることで食育に繋がります。

○参考

給食実施方式	内 容
自校方式 (単独調理場方式)	学校の敷地内に調理場があり、その学校分の給食を調理する方式です。 (例：牡丹平小、追子野木小、六郷小 (休止中))

<p>センター方式 (共同調理場方式)</p>	<p>学校とは別の場所にある給食施設で、複数の学校の給食を一括して調理し、給食時間までに各校へ配送する方式です。 (例：弘前市東部給食センター、平賀学校給食センター、田舎館村学校給食センターなど)</p>
<p>弘前市東部給食センターからの提供方式</p>	<p>弘前市東部給食センターにおいて調理した給食を、黒石市内の小学校へ配送する方式です。</p>

3. 地区説明会での主な質問と回答

(1) 学校適正配置

【質問】 スクールバスの運行は？

【回答】 原則として、通学距離が小学校 2 km 以上、中学校 4 km 以上の児童生徒を対象に運行します。

【質問】 児童館（りんごクラブ）の利用はどうか。

【回答】 統合後も現在ご利用の各地区の児童館等を利用させていただきます。

【質問】 移転新築小学校の校庭はどうか。

【回答】 現中郷中学校の校庭は、市内の他中学校と比較して約 2 倍の面積を有していることから、安全面に配慮しながら小学校と中学校で併用することとしています。

【質問】 黒石東小学校の校舎一部増築とは。

【回答】 児童数増加に伴う普通教室の増築と、自校給食施設の整備を計画しています。

(2) 学校給食

【質問】 六郷小事故の原因が解明されていないが、自校式で安全面は大丈夫か。

【回答】 新たに設置する給食施設では地下配管を敷設しないほか、オール電化の調理機器の導入も視野に入れるなど、安全面に最大限配慮した施設の整備に努めます。

【質問】 中学校では給食を実施しないのか。

【回答】 市教育委員会では、市内全小学校での完全給食実施を最優先に考えているため、中学校での給食実施は、小学校での給食実現後に改めて検討します。